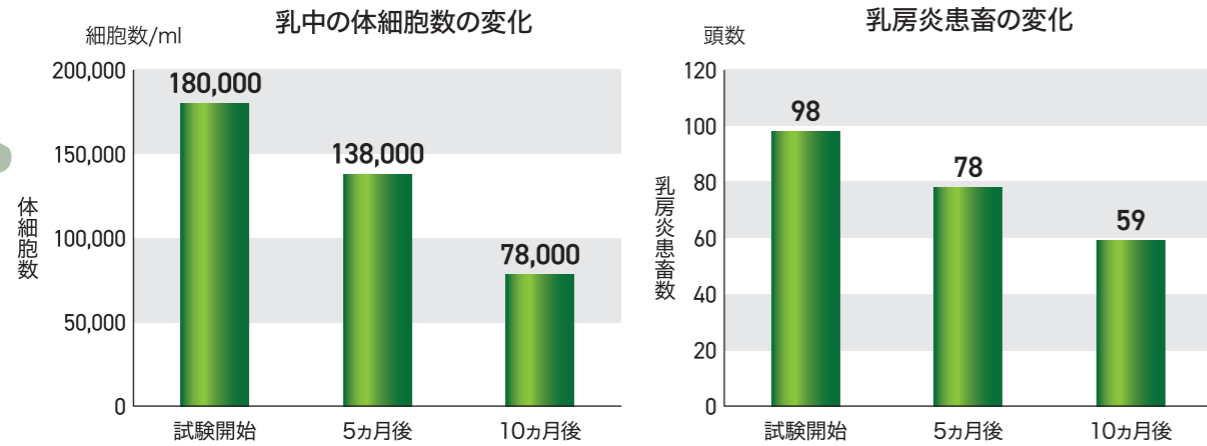


カビ毒除去剤 エリトックスを用いた野外試験

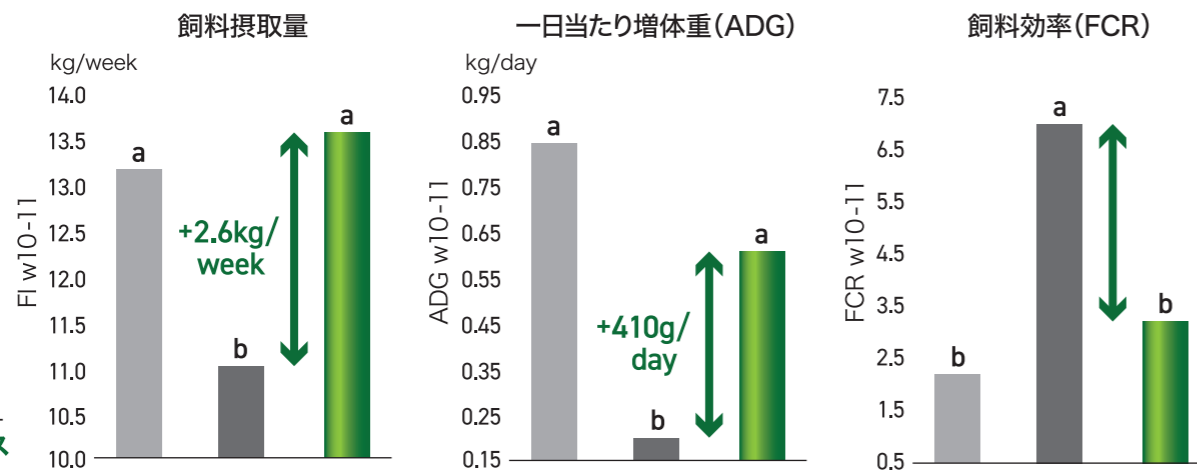
エリトックスを1日1頭10g給与した時の体細胞数、乳房炎への影響

Field trial, Wisconsin, USA, 2001-TAR 1607



DON高濃度汚染環境下(2.5ppm)でエリトックス(1kg/t)給与した時の生産成績

Virginia Diversified Research, USA, 1501



複合カビ毒除去剤 エリトックス

- 飼料の種類 ● 天然アルミノ珪酸塩混合飼料
- 内容量 ● 25kg紙袋
- 原材料 ● 天然アルミノ珪酸塩、無水珪酸、キトサン、キシラナーゼ、L-アスコルビン酸-2-リン酸エステルナトリウムカルシウム

使用量	乳牛・肉牛	
	トップドレス	TMR
標準使用量	10g	300g/t
	15g	450g/t
養豚	標準使用量	
	ステージ	添加量
	全ステージ	1kg/t
	母豚	2kg/t
	子豚(～60日齢)	2kg/t
重度カビ毒汚染の場合	子豚(60～90日齢)	1.5kg/t
	肥育豚	1kg/t

E l i m i n a t i o n o f M y c o t o x i n

Elitox[®]
Mycotoxins eliminator
エリトックス
複合カビ毒除去剤

カビ毒をはね**除**けて、
取り**去**ってくれる
従来の吸着**剤**にはない**3つの力**



新東亜交易株式会社

<https://www.shintoa.co.jp>

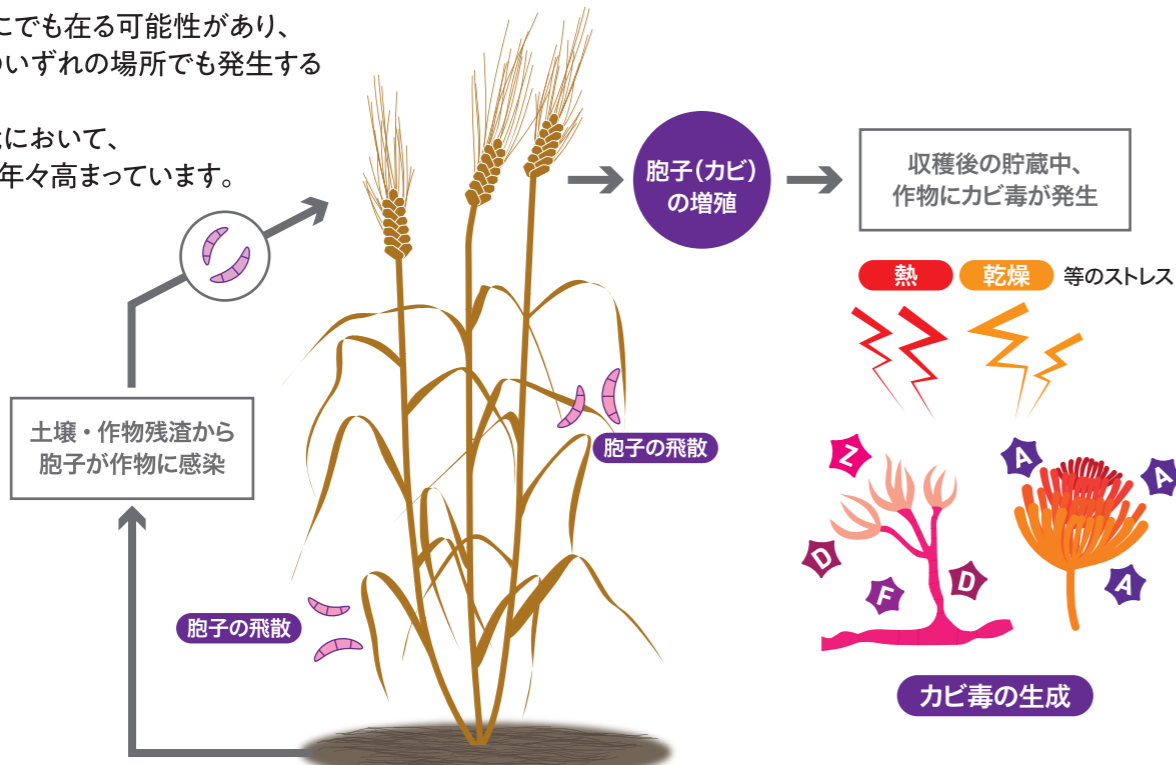
〒100-8383 東京都千代田区丸の内1-6-1 (丸の内センタービル8F)
【健康産業部 生物化学品チーム】
TEL : 03-3286-0427 FAX : 03-3213-2425 Mail : scfeed@sda.shintoa.co.jp

SHINTOA CORPORATION

Impextraco
Optimizing feed ingredients

カビとカビ毒、そしてそのリスク

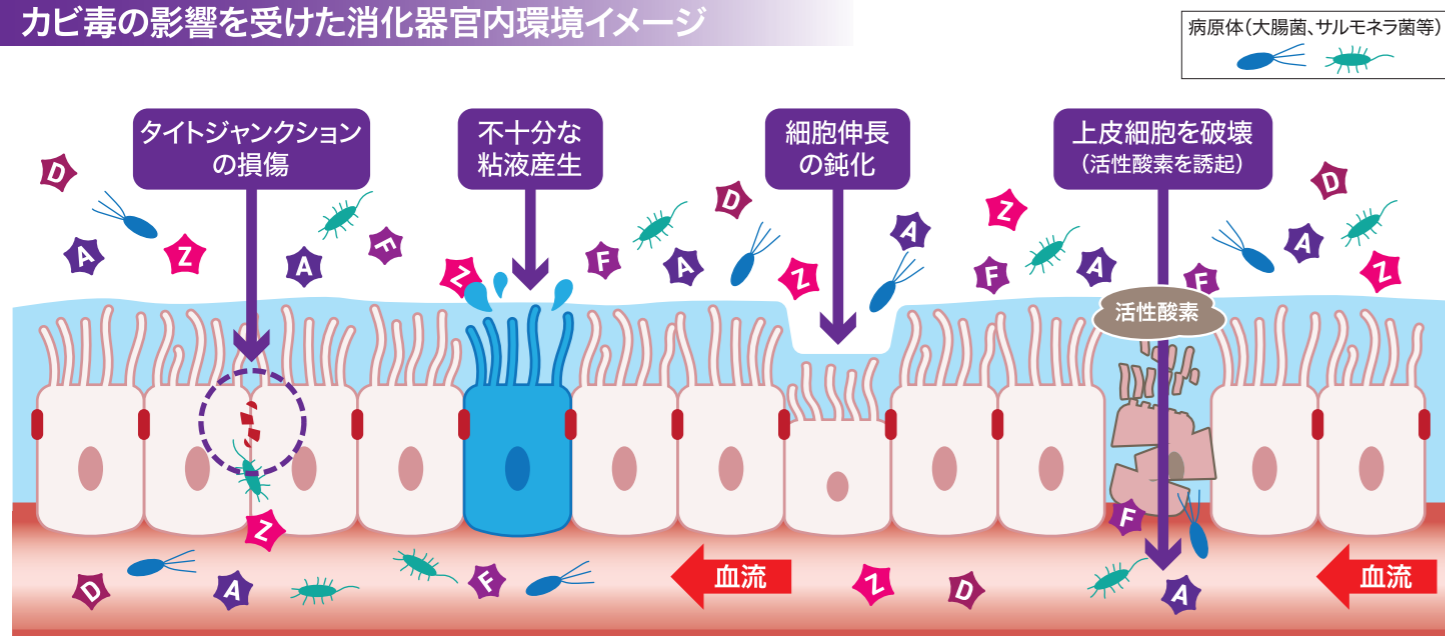
カビの孢子はどこにでも在る可能性があり、圃場、倉庫、農場のいずれの場所でも発生する危険性があります。温暖化の進む現代において、カビによるリスクは年々高まっています。



カビ毒はカビがストレス環境下において産生される二次代謝物です。目に見えない小さな物質で、カビ自体を取り除いてもカビ毒は残留している可能性があります。

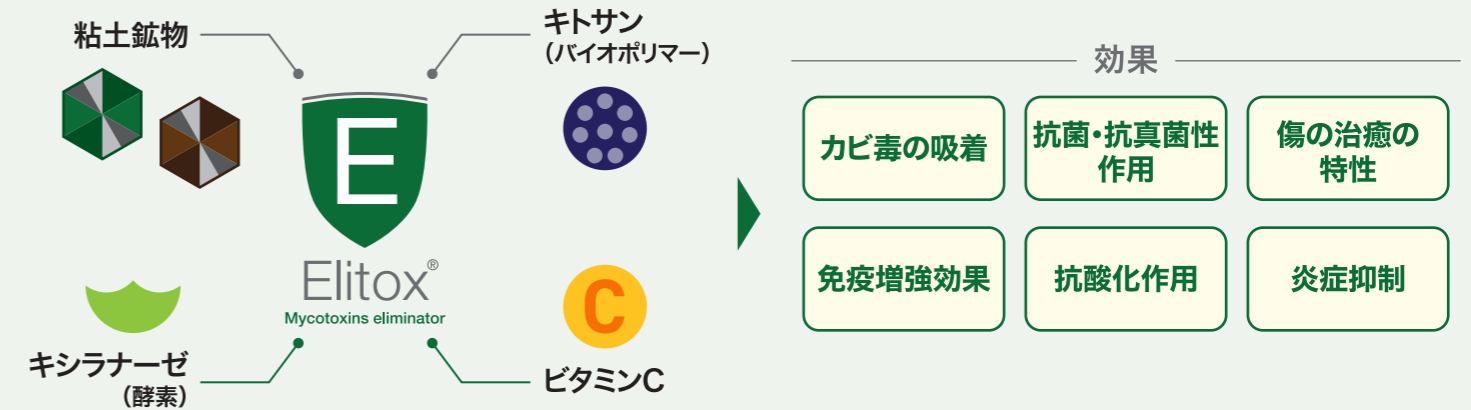
カビ	カビ毒	カビ毒症状
アスペルギルス属	Aflatoxin A アフラトキシン	肝毒性、免疫抑制、乳生産低下
フザリウム属	Fumonisin F フモニシン	免疫抑制、飼料摂取量低下
	Zearalenone Z ゼアラレノン	繁殖障害、流産、精巣萎縮
	DON D デオキシニバレノール	下痢、腸炎、飼料摂取量低下、体細胞数上昇、増体重悪化

カビ毒の影響を受けた消化器官内環境イメージ



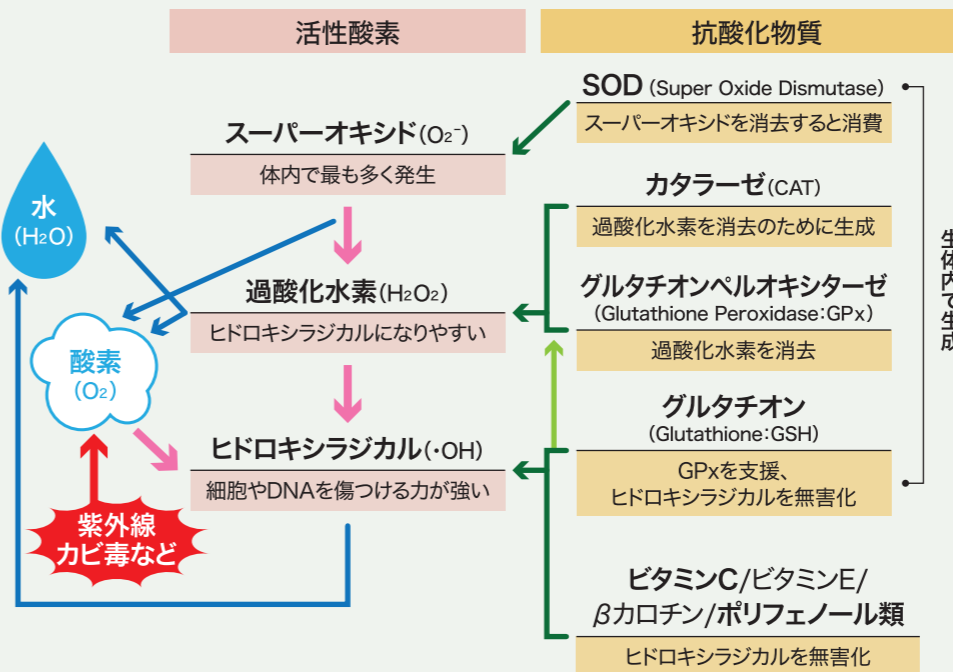
エリトックスの特長

幾多の生体試験で割り出した厳選素材と効果



カビ毒対策で忘れられていた活性酸素対策

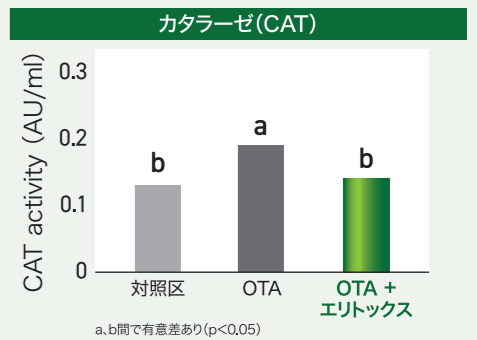
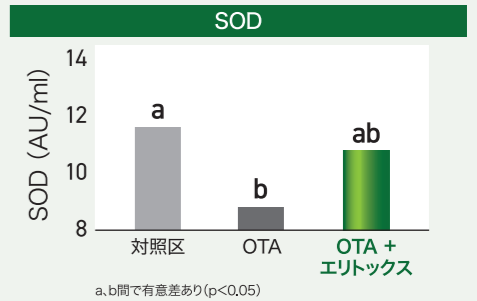
カビ毒は、活性酸素を誘起することで知られています。活性酸素は細胞を傷つけ、炎症を起こし、細胞死を招いてしまいます。



酸化ストレスからの保護効果

Table 1: Trial set-up

	OTA inclusion	エリトックス inclusion
T1 対照区	-	-
T2 OTA	500ppb	-
T3 OTA+エリトックス	500ppb	2kg/ton



University of Parana state, UFPR, Brazil, 1701-TAR 1627

エリトックスを給与した消化器官内環境イメージ

